

内部講習「CNC 旋盤取扱い実習」報告書

2013/9/26

- 受講者：永山・桶田・原田・中村・角田・鈴木（内野：企画／記録）
講師：船本、(中川)

■ 開講の経緯

2012年に本校実習工場のCNC旋盤が更新された。技術室ものづくり系班ではその技術的な取扱いとメンテナンス支援を継続的に行っている。更新に伴い、操作性・NC装置など様々な面で変更があったこと、また無計画かつ急激なカリキュラム変更により実習を行える時間が減少してきたことにより、各学科の実習教育も従来のものから、短時間で教育効果がある内容を検討する必要に迫られた。そこで新たな教育プログラムを作成し、授業の予行演習および改良点の模索から、技術室内部で同内容の講習会を行うこととした。

■ 日時

2013年9月26日 13:05 -

■ 内容

後期から実際に実習を担当する船本技術専門職員に講師となってもらい、また機械の使用実績が最も多いことから中川も補助として模擬授業を行った。

- ・ 概要説明（加工実演）
- ・ 作業者がやらなければならないことをグループディスカッション（ブレインストーミング）
- ・ 準備（機械操作）説明
- ・ プログラムによる指示説明
- ・ プログラム作成実習
- ・ 作成したプログラムによる加工



実習風景（左上：概要説明、右上：ブレインストーミング
左下：実機操作、右下：加工時説明）



加工品 (ギヤブランク)

■講師所感 (船本 和重)

従来のプログラム作成重視の実習から短時間での準備 (機械操作)、プログラム作成、加工までの一連の流れで行う実習内容に変更し、準備不足や戸惑いもあり、大幅に実習時間を超過してしまった。

準備から加工までそれぞれに改良点が見つかった予行演習であった。

後期の実習指導の改良の大変参考になり、受講者各位には貴重な時間を割いてご協力頂き、感謝します。